

令和4年度防災訓練を実施

令和4年10月16日（日）午後から仏生寺地区防災訓練を実施しました。本年もコロナ禍、参加者を仏生寺地区自主防災会役員、仏生寺消防分団、民生委員、福祉サポーター、防災士等およそ100名に限定し、参加者のマスク着用、避難所では、検温、手の消毒、3密にならないよう心掛けながら訓練を実施しました。

- ① 情報伝達訓練 氷見市から自主防災会長に携帯電話で避難指示の連絡が入る⇒会長は避難指示を受けて、各集落の区長に十三中学校に避難するよう伝達⇒区長は集落の情報伝達班長及び避難支援班長に避難情報を伝達⇒班長は担当区域の住民に避難情報を伝達⇒自主防災会役員等は各集落の緊急時集合場所に集合し、車に乗り合わせて避難所へ
- ② 避難所設営訓練 民生委員・福祉サポーター⇒避難所入場者の検温、手の消毒、救護室、女性更衣室の設置（天井付きテント2張り）、要支援者の支援協力者と安否確認等の連絡をとり、その報告書を本部に提出、車イスで障害者等を救護室へ案内 各集落の区長等⇒災害情報報告、避難者名簿を本部に提出 本部役員⇒各種報告書の受付、開会式の進行、自主防災会会長挨拶、市長挨拶、市地域防災課長挨拶、防災講演会（屋敷防災士が、仏生寺地区防災計画の説明、防災訓練の趣旨と訓練概要説明）参加者⇒各コーナーを巡回しながら、非常用発電機の運転・照明、簡易トイレの設置、避難者用テントの設置訓練を実施

- ③ 救護訓練 消防分団員の指導で、簡易担架の作り方、AEDの使い方を体験
- ④ 炊き出し訓練 炊き出し担当者が十三公民館のプロパンガスでお湯を沸かし、アルファ米を調理。盛り付けを避難所で行い、参加者が持ち帰る

- * 課題・住民への避難情報伝達の重要性を再認識する必要がある。（コロナ禍でも）
- ・防災行政無線を自主防災会役員全員が使えるように（地域のイベント等の活用）



防災講演会



災害情報を掲示板に貼る



AEDの使い方を体験



救護室・女性更衣室テントの設置